

平成30年大発会理事長挨拶

平成30年1月4日

皆様、明けましておめでとうございます。昨年は11月から根雪になるなど冬の到来が早く厳しい冬を予感させましたが、比較的穏やかな年末年始で推移しました。

平成30年の札幌証券取引所大発会を迎えるにあたり、高北海道財務局長をはじめご来賓の方々、関係者ならびに会員証券会社および多くの晴れ着の証券レディにお越しいただきましてま



(小池理事長)

ことにありがとうございます。一言ご挨拶させていただきます。

今年の経済予測につきましては色々な方々が述べられておりますので特に詳しく述べませんが、大方は次のようでございます。すなわち日本国内に限ってみれば企業業績及び政治情勢も安定しているため株式市場もおおむね引き続き順調な伸びが見込まれるが、朝鮮半島などの地政学上のリスクと米国政権の動きが波乱要因となりうるといったところでしょうか。北海道経済についても一昨年の台風被害の復旧が進み食糧基地機能がますます高まってきているほか、

引き続きインバウンド観光需要で北海道ブランドは高まっていますので、深刻さを増す人手不足をどう克服してゆけるかの課題を抱えています。今年も引き続き成長基調にあるものと思います。また金融証券界においても、企業の資本政策への関心の高まりと地元金融機関の合併や銀行系証券会社の誕生なども予定されています。

さて今日は女子カーリングチーム「北海道銀行フォルティウス」の方々をゲストとしてお招きしております。昨年まで男性ゲストが続いていたので女性でということと、企業の将来と成長を応援する札証の行事にふさわしい地元で夢を与える団体ということで当取引所理事である北海道銀行の上杉様のご尽力で実現できました。ご承知のようにチームを代表する小笠原選手と船山選手は3度のオリンピック出場、そして育児もこなすママアスリートで女性の時代のモデルであり、日本のトップレベルチームとして活躍しています。チームとしては、来月開催予定のピョンチャン冬季オリンピック出場権は大接戦の末、同じ北海道の北見のチームに譲りましたが、オリンピックに出場する北海道の選手たちの応援も兼ねて今日はこの札証の鐘を打鐘して頂きたいと思います。もちろん次の北京オリンピック、更にはその後の札幌オリンピックの出場を期待してもけっこうです。この札証の鐘のご利益のあることは、昨年において複数社の札証への新規上場や記録的に取引額が伸びたことなどで証明済み

です。

我々も、今年も高いポテンシャルのある北海道企業が現れることを祈念いたしますが、ご参加の皆さんも鐘が鳴っている間にそれぞれ願い事をして頂ければと思います。大発会に当たりましてご挨拶させていただきました。

本年もよろしくお祈いします。

「札証の鐘」2018年打ち始め

「スポーツを通して北海道の力になれるように今年も頑張っています。札証の鐘を鳴らした年は素晴らしい一年になると言う願いを込めて打鐘いたします」

北海道銀行フォルティウス
小笠原 歩 選手

